

## 令和5年度 大津東小学校学校評価結果報告（後期）

後期の学校評価へのご協力、ありがとうございました。結果をお知らせいたします。

### （1）保護者による学校評価

	質問項目	前期	後期
1	お子さんは、「目を見て先に挨拶する子ども」に育っている。	70.0	70.0
2	お子さんは、「後片付けができる子ども」に育っている。	71.0	62.8
3	お子さんは、「しっかりと話を聞く子ども」に育っている。	89.2	84.6
4	お子さんは、「地域に学び、ふるさとを誇りに思う子ども」に育っている。	91.4	85.9
5	学校は、教育目標や教育方針、学年・学級目標を、学校便り・学級便りやホームページを通して、保護者にわかりやすく伝えている。	81.7	88.5
6	学校は、学校便り・学級便りやホームページを通して、子どもたちの学校生活の様子を伝えている。	83.9	89.7
7	お子さんは、楽しく学校生活を送っている。	93.5	91.0
8	学校は、子どもたちの努力を認めたり励ましたりして、温かく接している。	81.7	93.6
9	学校は、健康・体力向上に向けた行事や授業の工夫を行っている。	87.1	84.6
10	学校は、安全対策（交通安全など）を適切に行っている。	87.1	88.5
11	学校は、いじめのない学校をめざし、人権教育に取り組んでいる。	76.3	84.6
12	学校は、縦割り班を生かした教育活動に取り組んでいる。	68.8	96.2
13	お子さんは、三つの約束「あいさつをする・時間を守る・人の話を聞く」ができています。	84.9	79.5
14	学校は、命を大切にする心の育成やルールを守る教育を行っている。	91.4	87.2
15	学校は、学習内容がわかりやすい授業を工夫している。	87.1	84.6
16	学校は、基礎基本の学力の定着に向けた授業や家庭学習課題などの取り組みを行っている。	72.0	83.3
17	学校は、タブレット端末や電子黒板などのICT機器を活用した授業を行っている。	83.9	84.6
18	学校は、読書活動の推進に取り組んでいる。	82.8	88.5
19	学校は、PTA や地域（大津東学校応援団等）と連携している。	84.9	91.0
20	学校は、地域人材を活用し、体験学習の推進を図っている。	84.9	89.7
21	学校は、保護者にとって連絡や相談しやすく、それらに適切に対応している。	89.2	88.5

(2) 教職員による評価

No.	質 問 項 目	前期	後期
1	子どもたちは、「目を見て先に挨拶する子ども」に育っている。	71.4	66.7
2	子どもたちは、「後片付けができる子ども」に育っている。	83.3	71.1
3	子どもたちは、「しっかりと話を聞く子ども」に育っている。	76.2	82.2
4	子どもたちは、「地域に学び、ふるさとを誇りに思う子ども」に育っている。	84.4	91.1
5	教育目標や教育方針、学年・学級目標を、学校便り・学級便りやホームページを通して、保護者にわかりやすく伝えている。	95.6	89.6
6	学校便り・学級便りやホームページを通して、子どもたちの学校生活の様子を伝えている。	97.8	93.8
7	子どもたちは、楽しく学校生活を送っている。	82.2	91.7
8	子どもたちの努力を認めたり励ましたりして、温かく接している。	88.9	93.3
9	健康・体力向上に向けた行事や授業の工夫を行っている。	88.1	86.7
10	安全対策（交通安全など）を適切に行っている。	91.1	88.9
11	いじめのない学校をめざし、人権教育に取り組んでいる。	86.7	91.1
12	縦割り班を生かした教育活動に取り組んでいる。	91.1	93.3
13	子どもたちは、三つの約束「あいさつをする・時間を守る・人の話を聞く」ができています。	66.7	68.9
14	命を大切にする心の育成やルールを守る教育を行っている。	90.5	88.9
15	わかりやすい授業を工夫している。	78.6	86.7
16	基礎基本の学力の定着に向けた授業や家庭学習課題などの取り組みを行っている。	88.1	86.7
17	タブレット端末や電子黒板などのICT機器を活用した授業を行っている。	85.7	88.9
18	読書活動の推進に取り組んでいる。	86.7	88.9
19	PTA や地域（大津東学校応援団等）と連携している。	84.4	85.4
20	地域人材を活用し、体験学習の推進を図っている。	86.7	85.4
21	保護者にとって連絡や相談しやすく、それらに適切に対応している。	88.1	88.9

### (3) 児童の自己評価

児童自己評価		前期	後期
1	学校では楽しくすごせましたか。	86.3	92.5
2	いつでも、どこでも、何度でも、目を見て先にあいさつをしましたか。	61.5	70.8
3	時間を守り、けじめのある生活ができましたか。	68.4	73.3
4	人の話をしっかり聞こうとしましたか。	82.1	85.0
5	使った物はもとの所にもどしていますか。	87.2	85.0
6	忘れ物をしないように気をつけましたか。	75.2	76.7
7	そうじを最後までがんばりましたか。	93.2	97.5
8	係や当番の仕事を進んでできましたか。	84.6	87.5
9	言葉づかいに気をつけて生活をしましたか。	79.5	75.0
10	給食を、すききらいなく食べましたか。	72.6	75.8
11	友達のことを考え、協力して生活しましたか。	83.8	84.2
12	図書室を利用し、進んで本を読みましたか。	77.8	81.7
13	天気の良い日などは、外で元気に遊びましたか。	76.1	79.2
14	登校班のルールや交通ルールは守れましたか	84.6	85.0
15	「いも植え」や「田うえ」などの行事に進んで参加できましたか。	94.0	94.2
16	授業は、よくわかりましたか	83.8	88.3
17	授業中に進んで発表していましたか。	76.9	89.2
18	授業中に友達と進んで話し合ったりしましたか。	84.6	85.8
19	自分の気持ちや考えを友達に伝えることができましたか。	76.9	78.3
20	宿題は自分で計画を立てて取り組みましたか。	82.1	81.7
21	みんなで協力して、学級園の作業や、うさぎのお世話などの学校づくりに取り組みましたか。	84.6	91.7
22	困ったとき、相談できる人はいますか。	86.3	86.7

※各アンケートの4択（4：たいへんそう思う 3：思う 2：あまり思わない 1：思わない）のうち、肯定的である回答の2択（4：たいへんそう思う 3：思う）の割合を100点満点で換算しています。

#### (4) アンケート結果からの考察

児童アンケートでは、前期より後期に肯定的な回答が多く見られました。しかし保護者アンケート及び職員アンケートでは、下降傾向のものもあり、保護者・児童・職員の評価に少し乖離がみられたため、次のとおり分析したところです。

##### <学校教育目標を支える重点事項について>

アンケート項目	保護者	児童	職員
目を見て先に挨拶できる子ども	70.0	70.8	66.7
後片付けができる子ども	62.8	85.0	71.1
しっかりと話を聞くことができる子ども	84.6	85.0	82.2
みんなで学校や大津町をつくることのできる子ども	85.9	91.7	91.1

「目を見て先に挨拶できる子ども」については、保護者・児童・職員ともに十分ではありませんでした。今後も授業をはじめ、各教育活動のなかで、挨拶の日常化に努め、認め、ほめ、励まし、伸ばしていきます。

「後片付けができる子ども」については、保護者及び職員と、児童の評価にはかなりの差があるため、児童と大人との片づけの意識に違いがあることが分かります。実際に出来たことを褒めながら、片づけが次への準備という意識をつけ、家庭と連携して指導していく必要があります。

「しっかりと話を聞く子ども」「みんなでつくる学校や大津町」については、全体的に高い評価が得られました。今後も、地域や家庭で見せる子どもたちの姿を大切にしながら、自ら主体的に取り組むことのできる子どもたちを育成していきます。

##### <生活の様子等について>

アンケート項目	保護者	児童	職員
楽しく学校生活を送っている	91.0	92.5	91.7
登校班のルールや交通ルールは守れた。(命や交通ルール)	88.5	85.0	88.9
	87.2		88.9
自分の気持ちや考えを伝えることができた。(人権教育)	84.6	78.3	91.1

多くの児童が、楽しく学校生活を送っていました。しかし、「あまり楽しくない」と感じている児童がいることもわかったため、楽しくない要因を明確にして、子どもたちが安心して過ごすことができる学級づくり・学校づくりに努めていきます。

登校班のルールなど、自他の命を尊重することについては、前期に続いて全体的に高い評価が得られました。今後も、学校応援団をはじめとした地域と学校が連携し、朝からの交通安全指導や交通教室の実施、登校班の振り返りなど、子どもたちの安全・安心を保障できる学校づくりに取り組んでいきます。

人権教育については、子どもは人権学習や人権集会など学校教育活動全般で身に付けました。また、保護者や地域には「親の学びプログラム」での啓発を行いました。子どもたちの意識が保護者や職員と比較して低い実態が明らかとなりました。しかし、昨年度よりも子どもたちは、発言に対するお返しの言葉も上手になっている状況です。気持ちや考えを発言できる機会を十分に設けて、自らを高めていく人権教育を目指し、指導方法・内容等を工夫していきたいと思えます。

<学習について>

アンケート項目	保護者	児童	職員
分かりやすい授業である	84.6	88.3	86.7
基礎基本の学力の定着に向けた授業や家庭学習での取組をしている（宿題への取組）	83.3	81.7	86.7

学習については、前期と比較して、ほぼ全ての項目で向上がみられました。特に、保護者・児童・職員の全てにおいて8割以上が「授業が分かりやすい」と捉えていることが分かりました。今後も、子どもたちが課題について主体的に考え、表現できるよう、研究を深めていきます。また、家庭学習については、前期と比較して、保護者・児童・職員の評価に差がない状況となりました。今後も、子ども一人ひとりが当面している学習課題を明確にして、保護者とも合意形成を図って指導してまいります。「できた、わかった」を実感する授業と、「やってみよう」と自ら取り組む宿題など、ICTも効果的に活用しながら、確実な基礎基本の定着を目指してまいります。

(5) まとめ

保護者の皆様には、お忙しい中、学校評価アンケートに回答していただきありがとうございました。後期は、前期の反省をもとに活動を進めて参りました。しかし、まだ十分な結果とは言えず、全職員でその課題に真摯に向き合い、しっかりと子どもたちに力をつけ、4月からの進級・進学を迎えられるよう取り組んでまいります。残り1カ月あまりとなりましたが、これまで同様、学校教育にご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

令和6年2月17日

大津町立大津東小学校

校長 太田黒 保宏